医薬品の製剤開発 実情に理解深める

くすりのシリコンバレー



産学官で富山の医薬品分野の研究開発に取り組む「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムのシンポジウム＝写真＝は18日、富山市の県民会館で開かれ、製薬企業や医療従事者ら約200人が医薬品の製剤開発の実情に理解を深めた。

東京薬科大の岡田弘晃名誉教授や国立成育医療研究センター研究開発監理部の中村秀文開発企画主幹ら3人が講演した。アステラス製薬の川端彩希研究員は、水なしで服用できる錠剤や、有効成分の苦みを軽減させる技術を紹介した。

冒頭、新田八朗知事がビデオメッセージを寄せ、森和彦事業責任者はコンソーシアムのこれまでの研究成果や人材育成事業などを説明した。

2026年11月19日付 富山新聞朝刊 利用許諾済み